

研究の最前線に「溶接女子」

阪大接合研の女子学生に聞く

大阪大学接合科学研 えてきた。現在、1・2 いま研究と就職を見据 究所（大阪府茨木市）0人いる所属学生のう えた日々を送る。に属する女子学生が増 ち8人が女子学生だ。

日本でも一つしかない 溶接の総合研究機関で 入りのきっかけの一 度と情報の つになった。造船現場 集積地であ は人の手による溶接が る点が魅力 多く、ロボットを取り の一つとな 入れた技術提案があっ っている。 ても、反映されにくい 修土課程 状況を垣間見た。その 2年の佐野 ため、「レーザや数値 萌さん(24) シミュレーションを使 っている。 って、もっといいやり 方と入り入れられる 装置がある ような研究をしたい」 ので実験が と語る。

合をない口を揃え 行っている。普段は英 授業でゴールに向かっ た。ただ、佐野さんは 語で会話しており、 て条件を詰めていく論 理的な方法に惹かれた のがきっかけだ。そん な佐野さんは、根っか 思った。少なくとも私 顔で述べた。将来はタ からの理系ではない。そ にとって、女の先輩が イで産業界と学術界を のため、早い時期に文 理を分けるのではない 橋渡りする事に携わ 口を広げてもらえた 中国からの留学生で 「口を」提言する。



接合研所属の女子学生（前列）

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都

溶接はカッコイイ!

「必要も ある。 修土課程1年の森下 さんが、コン 真衣さん(23)さんは まったい「男の人とは違っ た」と話す。 同じく修土 課程2年の 越智真理子 さん(24) います。 他のも同じ意見 有名なので、力仕事が必要な時 分で、色々な 慮もあって特段の不都